

生産動態統計通信

- 第 13 号 -

編集	経済産業省大臣官房 調査統計グループ 鉱工業動態統計室
発行	2025年11月

御挨拶

日頃から経済産業省が実施しております各種統計調査に御協力をいただき、ありがとうございます。
また、経済産業省生産動態統計調査につきましては、業務御多用のところ毎月御提出をいただき重ねて御礼申し上げます。

この調査は、統計法に基づく基幹統計調査であり、『経済産業省生産動態統計』の作成により、鉱工業生産の動態を明らかにし、鉱工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としております。

皆様に御提出していただいた貴重な調査票は、厳重な管理のもと、当省において集計され、生産動態統計の速報、確報及び時系列表として毎月公表しているほか、翌年には年報として公表しております。当省では、これらの調査結果をより多くの方々に使っていただくためにホームページでの公表を行っております。

この統計通信においては、ほんの一例ではありますが、公表データを使用して調査品目の最近の動向について掲載しています。

下記URLよりホームページにアクセスいただき、掲載データをご活用いただけましたら幸いです。

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>

主な利活用状況

鉱工業に関する施策の基礎資料

鉱工業指数(IIP)、国民経済計算(SNA)の四半期別GDP速報、産業連関表等の二次加工統計の基礎資料
地域産業施策、地域振興施策のための基礎資料

業界団体における当該業界の業況把握、需要予測などの基礎資料

大学、民間の研究機関における経済見通し、経済動向分析、業種動向分析等の基礎資料

生産動態統計ホームページで御覧いただける主な内容

- 調査の概要
- 調査票及び記入要領
- 調査品目の検索表
- 調査品目の変遷
- 生産動態統計通信
- 生産動態統計 速報・・・翌月末公表
- 生産動態統計 確報・・・翌々月中旬公表
- 時系列表・・・翌々月中旬公表
- 生産動態統計 年報・・・翌年6月頃公表

当面の公表スケジュール

今後の公表予定は、以下の経済産業省生産動態統計調査の公表予定のページをご覧ください。

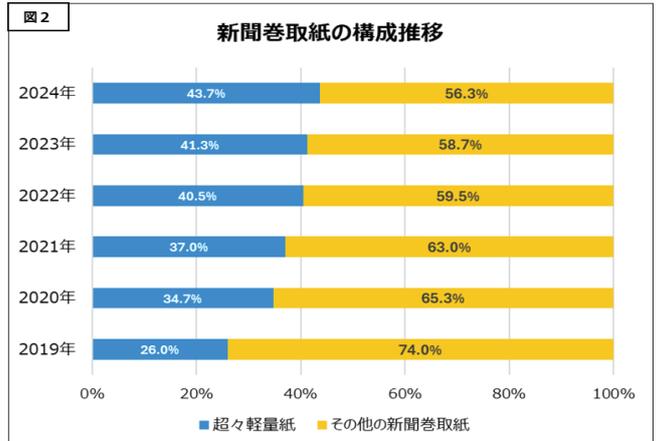
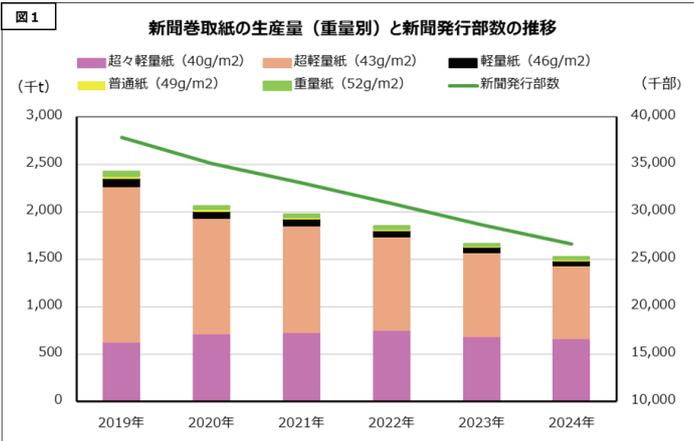
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/yotei/xml/e-stat_seidou.xml

次年の公表予定は、11月分速報の公表（毎年12月末）とともに掲載される予定です。
公表予定は変更される場合があります。

データの利用について

生産動態統計を見ると、約1,600品目の鉱工業製品の生産・出荷・在庫の数量や金額等について、品目ごとの毎月の動きがわかります。公表しているデータを使って、特徴的な動きをしている品目を中心に最近の動向についてご紹介します。

データの利用例 (その1)



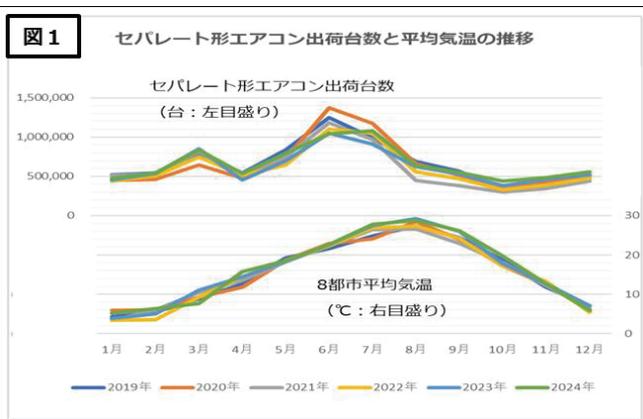
新聞巻取紙の生産量は、年々減少していますが、これは、デジタル化の進展による「紙」の新聞購読者減少による新聞の発行部数減少が主な要因といわれています。

直近6年間の新聞巻取紙の生産量と新聞発行部数の推移のグラフ（図1）を見ますと、新聞巻取紙の生産量と新聞の発行部数は、いずれも減少傾向であることがわかりますが、今回着目したのは、日本新聞協会が公表している新聞用紙の生産実績の重量別構成比（図2）です。これによると、新聞用紙の軽量化が図られていることが見て取れます。

このことから、生産総重量の推移から分かる生産量の減少要因には、紙の軽量化も一因となっていることがわかります。紙の軽量化が進む要因としては、昨今の輸送費値上がりも一因と思われます。

出典：経済産業省生産動態統計 新聞巻取紙の生産量
一般社団法人日本新聞協会データ 新聞の発行部数、新聞用紙の国内生産実績（軽量化の推移）

データの利用例 (その2)



エアコンの出荷と気温の年間の推移について見てみると、毎年同じようなパターンで推移しており、非常に季節特性が強いということが読み取れます。

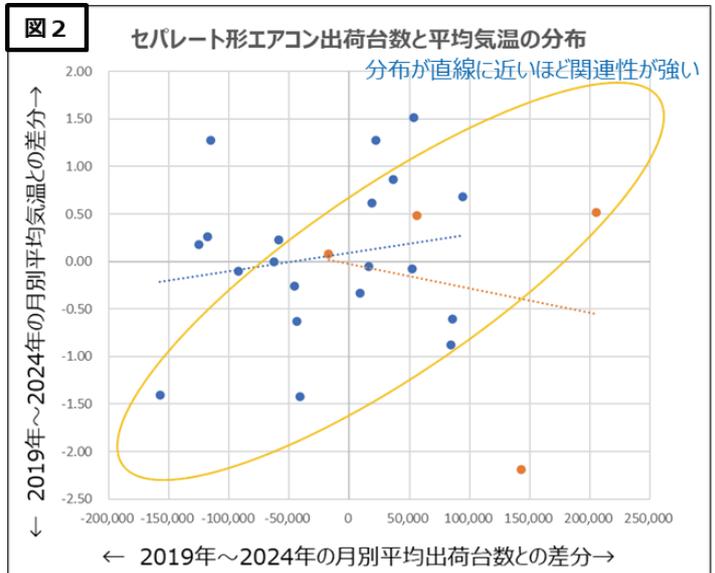
特に2024年は例年より気温が高い状況が続き、7月の平均気温は2019年から2024年のうち最高を記録しました。

エアコンの出荷も例年6月が年間のピークですが、2024年は7月が出荷のピークとなりました（図1）。

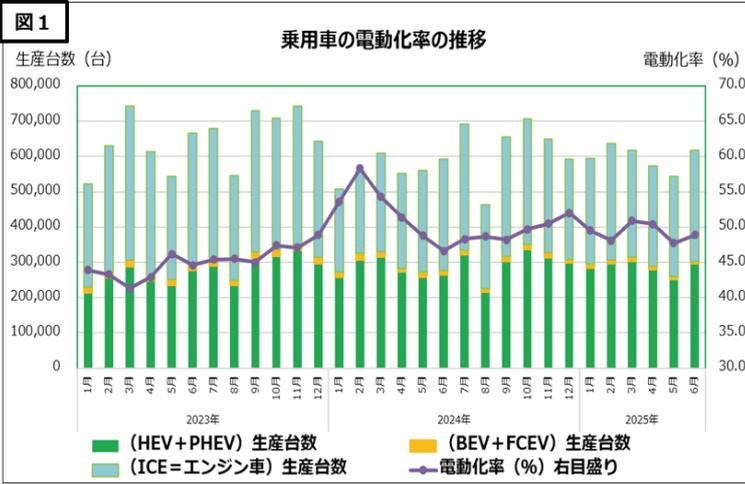
そこで、夏の需要期となる5月から8月のエアコンの出荷台数と平均気温の関係を見てみると、エアコンの販売は気温との関連性が強いという一般的な印象がありますが、分析の結果、実際には想定していたより気温との関連性はあまり強くないという結果になりました（図2）。

特に2020年（図2中オレンジのプロット・類似線）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務も進み、巣ごもり需要が発生していたという特殊要因の影響もあり、平均気温との関係が逆向きになっていました。

これは、その時点での気温が高ければ、一定程度、需要に繋がりますが、春先や初夏の長期予報などを踏まえて計画的に生産や販売を行っていることや、気温以外の要因などもエアコンの販売に影響していることが推測されます。



出典：経済産業省生産動態統計 エアコンディショナ_セパレート形_室外ユニット計
気象庁データ 集計都市：札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡



乗用車の電動化率は、統計を取り始めた2023年1月以降、当初は40%～45%で推移していましたが、現在では、約50%に上昇しています。種類別に見ると、電気自動車等の生産台数に占める比率は、ハイブリッド車（HEV）及びプラグインハイブリッド車（PHEV）が大半を占め、液体燃料を積まない電気自動車（BEV）及び燃料電池車（FCEV）は僅かとなっています（図1）。

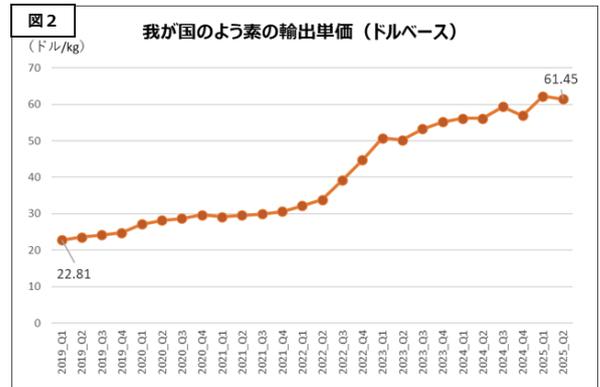
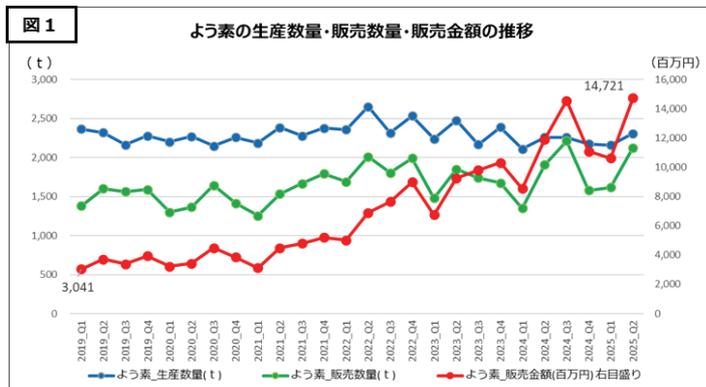
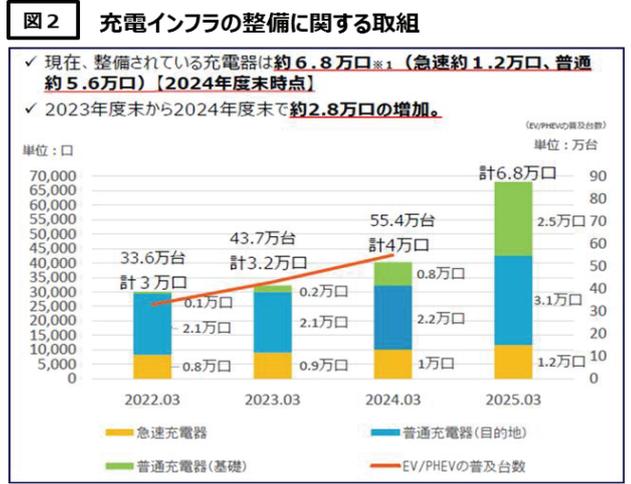
電気自動車等の車両の普及と充電インフラの整備は、両輪で進めていくことが必要とされており、2024年度末時点では、約6.8万口の充電器が整備されています（図2）。

国内自動車メーカーなどによる次世代電池の開発も積極的に進められており、さらに長距離走行、短時間充電が可能になると見込まれるなど、電気自動車等を巡る環境も変わっていくと予想されます。

クリーンエネルギー自動車の購入や充電設備の設置には、国や自治体からの補助金制度の利用が可能であり、電気自動車等の購入促進及びインフラ整備に一役買っており、今後も普及効果及び電動化率の推移を注視していきたいところです。

クリーンエネルギー自動車導入促進補助金（CEV補助金）
2022年度 900億円、2023年度 1,291億円、2024年度 1,100億円

出典：経済産業省生産動態統計、資源エネルギー庁CEV補助金
経済産業省資料 充電インフラの整備に関する取組：
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/charging-infra-fukyu.html



「よう素」は、採取可能な場所が世界でも限定されており、2010年代の試算では、日本の「よう素」生産量は世界生産量（約34,000トン）の約3割を占め、2大生産国であるチリと日本で世界の「よう素」の約9割を供給している、とされています（注1）。また、「よう素」は輸出割合の高い品目（2025年平均 約64%）であり、我が国の2024年実績では17か国に輸出されています。

近年、「よう素」の生産数量と販売数量には顕著な動きは見られませんが、販売金額は2019年第1四半期と2025年第2四半期を比較すると4.8倍に増加しています（図1）。円安の影響を除くため、ドルベースでの輸出単価をみると、2019年第1四半期と2025年第2四半期を比較し2.7倍に単価が上昇していることが分かります（図2）。

「よう素」は、従来からの需要分野である医薬品、殺菌剤、X線造影剤等に加え、次世代太陽電池といわれる「ペロブスカイト型太陽電池」の主原料としての用途も見込まれている（注2）など、更なる需要拡大が予測されていることから、販売金額だけでなく、生産数量や販売数量の動向についても、今後、注視する必要があります。

出典：経済産業省生産動態統計、財務省貿易統計、日本銀行 為替相場東京市場（ドル・円 スポット 17時時点/月中平均）
参考：注1：千葉ヨウ素資源イノベーションセンターHP：<https://ciric.chiba-u.jp/iodine.html>
JOGMEC：https://oilgas-info.jogmec.go.jp/res/projects/default_project/page/001/008/819/TRC116_20200731_r.pdf
注2：産総研マガジン：https://www.aist.go.jp/aist_j/magazine/20221124.html

ホームページのご利用方法

経済産業省トップページ「統計」⇒「主要統計」⇒「鉱工業」⇒「経済産業省生産動態統計調査」
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>

経済産業省ホーム 統計 経済産業省生産動態統計調査

経済産業省生産動態統計調査

鉱工業生産の動態を明らかにし、鉱工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としています。

お知らせ

- 「経済産業省生産動態統計調査事務局」設置に関するお知らせ（2024年4月1日）
【調査対象企業・事業所の皆様へ】[こちらをご覧ください](#)

更新情報

- 2025年 8月29日 [経済産業省生産動態統計速報 2025年 7月分公表](#)
- 2025年 8月18日 [時系列表を更新](#)
- 2025年 8月15日 [経済産業省生産動態統計確報 2025年 6月分公表](#)
- 2025年 6月30日 [2024年年報公表](#)

調査の概要

調査の目的

調査の対象

調査票及び記入要領

集計・推計方法

その他

調査の沿革

抽出方法

調査の時期

民間委託の状況

調査の根拠法令

調査事項

調査の方法

統計の利活用の状況



調査の結果

結果の概要

利用上の注意

接続係数表

調査品目の変遷

統計表一覧

用語の解説

過去の年報

集計事項一覧

正誤情報

推計方法

調査品目の検索

その他



速報	主な調査対象品目について生産・出荷・在庫データを掲載
確報	全ての調査対象品目についてデータを掲載
時系列表	調査対象品目61ヶ月分の生産・出荷・在庫データを掲載
年報	<ul style="list-style-type: none">2021年からは単一表形式を掲載2007年～2020年までは、業種別7分冊を掲載1989年～2006年までは「2006年（平成18年）以前の年報(PDF)はこちらへ」に掲載

調査品目の検索（令和7年版）について

■ [調査品目の検索表（エクセルファイルの一覧表、commodities.xlsx）](#) ■

【検索表について】

上記リンク先の表は、令和7年経済産業省生産動態統計で公表している品目の検索を目的として、調査品目を例示し、更に統計表の掲載箇所等の関連情報を一覧表（エクセルファイル）にまとめたものです。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。